お客様本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

秋田ふるさと農業協同組合では、「持続可能な農業の実現」、「安心して暮らせる豊かな地域社会の実現」、「地域を支え続ける強いJAづくり」を基本方針に掲げ、地域の組合員・利用者の皆様に金融商品・共済仕組のサービスの提供を行っております。

今後、本方針に基づく取組み状況を定期的に公表するとともに、「組合員・利用者本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標(「比較可能な共通KPI」)も同時に公表いたします。

(注)共済事業は、当組合と全国共済事業農業協同組合連合会(JA共済連)が共同で事業運営しております。

秋田ふるさと農業協同組合

I.取組状況

1 お客様への最適な商品提供

(1) 金融商品

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)補充原則1~5本文および(注)】

- ▶ JAバンクでは特定の運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料等の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えし、安定した資産形成・資産運用にとって最善な提案・商品・サービスを提供するため、「JAバンクセレクトファンド」、「JAバンク資産運用サービス」を選定しております。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- 組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。なお、当組合は金融商品の組成に携わっておりません。

く投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型		7

<商品選定の考え方>

JAバンクでは以下の基準で長期投資に適した投資信託を選定しております。

まな選定基準等

1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること

2 手数料 手数料が良心的な水準であること

3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること

4 将来性 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方: JAバンクHP https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/

共済事業

1 お客様への最適な商品提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、 原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1~5本文および(注)】

- ▶ 当組合が理念とする「相互扶助」を事業活動の原点とし、常に組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供と、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるま・農業の総合保障」の提案を通じて、組合員・利用者の豊かな生活づくりと安心して暮らすことのできる地域社会づくりに努めております。
- 総合満足度は令和7年3月末時点で96.4%となっており、高水準を維持しております。 なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客様の声や実際に 販売した顧客情報等について相互に連携しております。
- ▶ なお当組合は、投資性金融商品の組成および市場リスクを有する共済仕組(例:外貨建て 共済)の提供は実施しておりません。

I.取組状況

信用事業

共済事業

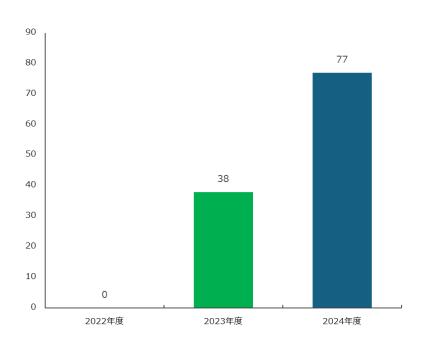
2 お客様本位の提案と情報提供①(1)信用の事業活動

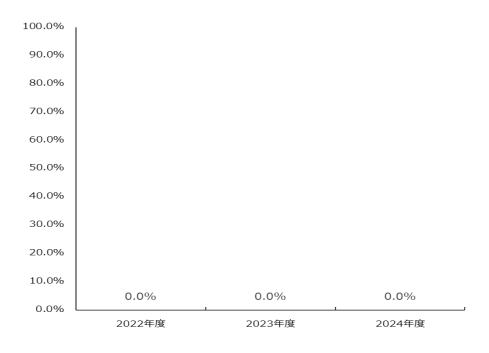
【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1~5)、 原則6本文および(注1~5)】

- ★ 金融知識・経験・財産、ニーズや目的にあわせて、お客さまの投資判断に資するよう、長期分散投信を基本に商品のリスク特性をお客様の意向やリスク許容度に沿ってわかりやすく説明し、お客様にふさわしい商品をご提案した結果、投信つみたてを利用されるお客様が増加しております。
- ※ 現状、当組合では毎月ファンドを選択されるお客様の比率は0%となっております。

<投信つみたて契約件数の推移>

<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>





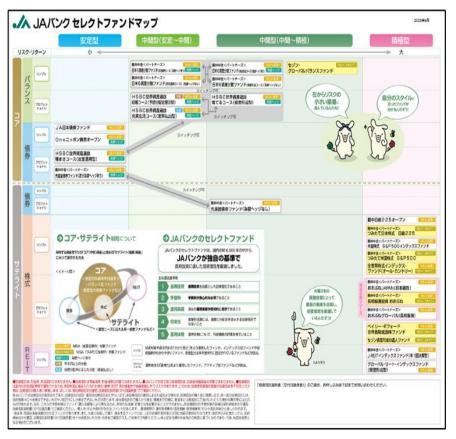
共済事業

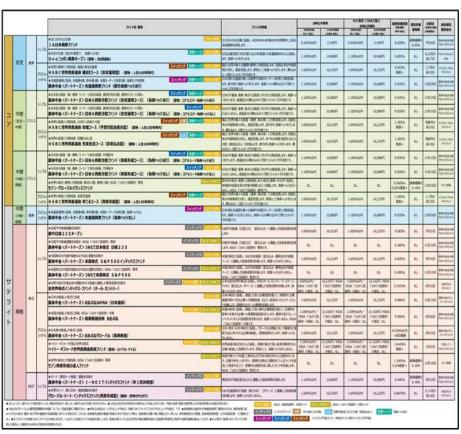
2 お客様本位の提案と情報提供①

(1)信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1~5)、 原則6本文および(注1~5)】

▶ 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、JAバンクファンドマップを活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しております。





共済事業

2 お客様本位のご提案と情報提供②

(2) 共済の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1~5)、 原則6本文および(注1、2、4、5)】

- ▶ 組合員・利用者の皆様への共済仕組みの提案については、年齢や家族構成、保障期間、共済金額、 掛金等について、各種公的保険制度等にかかる情報等を踏まえ、組合員・利用者の皆さまのニーズに 応じた最適な保障を提案して参ります。
- ▶ 保障提案の結果、ご契約に至るときは、組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、保障設計書等を使用し分かりやすい説明に努めて参ります。 また、ご契約時には重要な情報について、重要事項説明書(契約概要、注意喚起情報)を交付のうえ、丁寧な説明を致します。なお保障の加入にあたり、共済掛金の他にご負担いただく手数料等はございません。
- ▶ ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、丁寧な意向確認や重要事項説明を十分に行うとともに、契約時には、ご家族の同席等を徹底し、ご家族を含めご納得いただける対応に努めてまいります。

共済事業

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

▶ お客様への金融商品や共済仕組のご提案をする際は、お客様の利益が不当に害されることのないよう 関係法規および利益相反管理規程に基づき適切に管理しております。当組合では利益相反管理部 署を定め、利益相反等のおそれがある取引の確認・特定、利益相反管理体制の適切性と有効性を 定期的に検証し、見直しを定期的に行っております。

4 お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

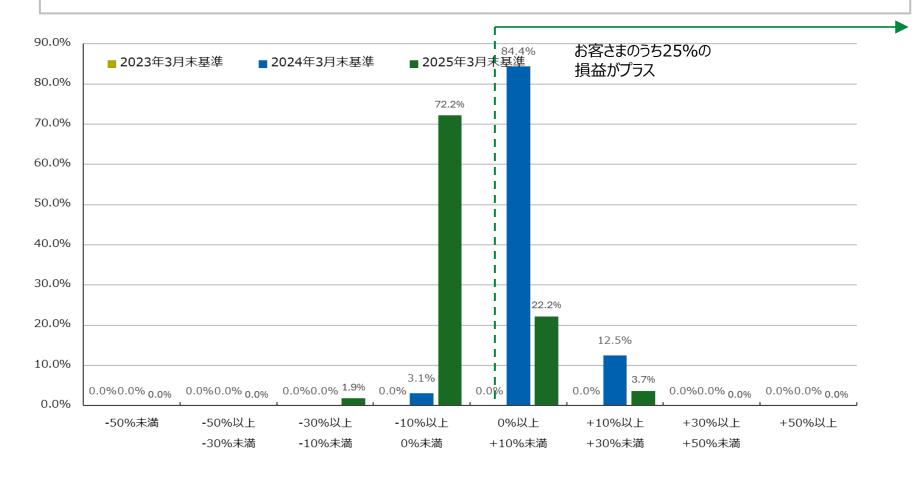
【原則2本文および(注)、原則6 (注5)原則7本文および(注)】

- ▶ お客様に満足していただける最適な金融商品・共済仕組・サービスのご提供と、堅確な事務を行うため、 職員の継続的・定期的な研修による、提案力の向上と資格取得に向けた教育体制を構築しておりま す。また、お客様の全ての金融資産ニーズに応え、お客様本位の提案活動が適切に実施されるよう、 人材育成に取り組んでおります。
- ▶ 運用会社による投資信託の基礎知識・マーケットに関するセミナー等を定期的に開催し、職員の意識・知識向上につながる取組を行っております。

共済事業

1 運用損益別顧客比率(投資信託)

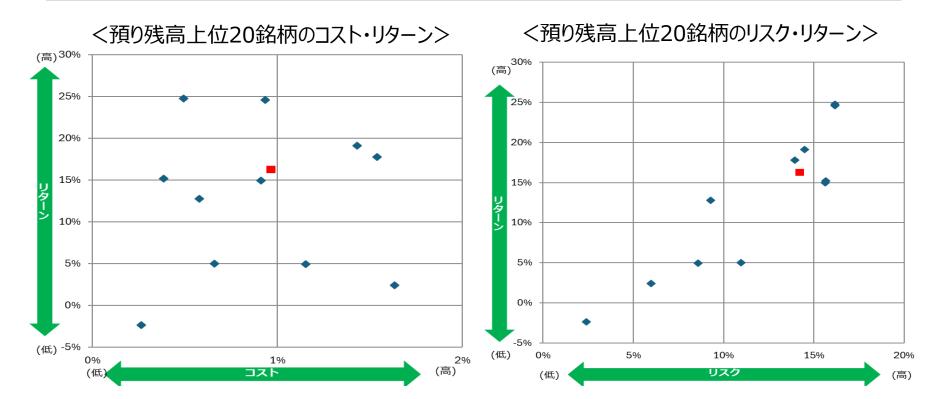
• 「運用損益別顧客比率」は、マーケットの大きな下落局面があり、基準価格が一時的に下がったお客様も一定数いらっしゃり、2025年3月末時点では全体の25%のお客さまの損益がプラスとなりました。



共済事業

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/2) (2025年3月末)

- J A バンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づき チェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.97%、平均リスク14.20%に対して、 平均リターンは16.27%でした。

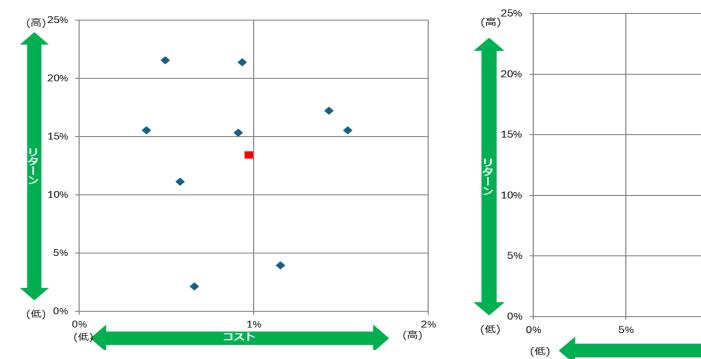


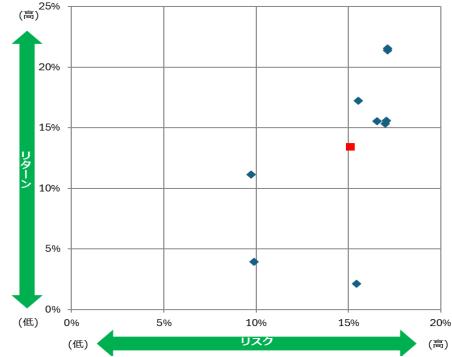
- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

- 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/2) (2024年3月末)
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.97%、平均リスク15.10%に対して、 平均リターンは13.41%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>





- ※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※赤い点は平均値を示しています。

共済事業

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(1/2) (2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
5	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
6	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
7	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
8	HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型)人生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
10	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
11	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.27%	14.20%	0.97%

- ※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。
- ※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

投信取扱いJA

信用事業

共済事業

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(2/2) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
4	J-REITインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.14%	15.44%	0.66%
5	つみたて米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
6	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
9	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.41%	15.10%	0.97%

- ※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は9本となります。
- ※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。